

第2学年国語科学習指導案

時間・場所 公開授業③ 2年2組教室
 学 級 2年2組 32名（男子15名，女子17名）
 指 導 者 長根 いずみ

- 1 **単元名** トップ記事・論説・コラム・人物評で紹介する「平家物語」
学習材名 「扇の的一『平家物語』から」（光村図書 国語2 P132）
 「ビギナーズ・クラシックス日本の古典 平家物語」（角川ソフィア文庫）
 新聞記事……岩手日報・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞

2 単元について

古文については、小学6年生で、「狂言 柿山伏」を音読中心に学んでおり、古文特有の言い回しやリズム、狂言の内容的な面白さについて理解している。それを踏まえて中学1年生では、「ビギナーズ・クラシックス日本の古典 竹取物語（全）」を学習材として、古典作品全文に触れさせ、「物語の出来事を報道記事にまとめる」ために〔読むこと〕を通して、〔伝統的な言語文化に関する事項〕の指導をした。生徒たちは大いに関心を示し、学習に主体的に取り組むことができた。

〔読むこと〕については、本年度1学期までの指導で、場面等の部分から心情を表している描写を指摘することはできたが、その叙述をもとに想像を広げたり、物語全体と場面との関係・描写の効果・登場人物の言動の意味を捉えたりして読むことに課題があった。

そこで、「平家物語」の主要な場面が収録されている単行本を補助学習材として、古典作品に触れさせ、「物語の出来事を報道記事にまとめる」という目的をもって「読むこと」の指導をしたいと考えた。さらに、今回は、論説・コラム・人物評など書く文章の種類も増やしたいと考えている。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・物語全体と場面の関係、描写の効果、登場人物の言動の意味に注意して読み、叙述をもとに想像して読むことができる。(Cーイ)
- ・「平家物語」の登場人物の言動や心情・筆者のものの見方や考え方等について、新聞から学んだ「報道記事・論説・コラム・人物評」の書き方で、自分の考えをまとめることができる。(Cーオ)
- ・選んだ場面を、文語のきまりに従って、リズムに乗って音読することができる。(伝統的な言語)

(2) 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	伝統的な言語文化
新聞記事（報道記事と論説・コラム・人物評のいずれか）にまとめるという目的をもって平家物語を読んでいる。	新聞記事（報道記事と論説・コラム・人物評のいずれか）に、その場面の状況や人物の心情がまとめられ、さらに、それにふさわしいコメント（考え・評価）がまとめられている。	自分で選んだ場面について、文語のきまりに従って、リズムに乗って音読している。

4 単元計画（総時数8時間）

次	時	主な学習内容
事前		○「ビギナーズ・クラシックス日本の古典 平家物語」を朝読書で読む。
1	1	単元の見通しをもつ（新聞の書き方の確認・学習目的“どんな力が付くのか”の確認）。 「平家物語」のおおよその展開と登場人物を捉える。コメント（評価・考え）を表す語彙を集める。
2	1	古典の基礎を学ぶ。「平家物語」冒頭を音読する（古文の言い回しや歴史的仮名遣いの学習）。
	1	お気に入りの場面のトップ記事を書く。書いた記事をグループAで交流。
	1	論説・コラム・人物評の記事の書き方を確認する。グループAで役割分担をする。
	1	セカンド記事と論説・コラム・人物評のいずれかを書く。
	1	記事をグループB（同じ登場人を選んだ人）で読み合い人物像について探り全体で発表。【本時】
3	1	推敲し新聞原稿用紙に清書する。グループAで一つの新聞にまとめる。
		各グループでまとめた「平家物語新聞」を発表し、全体で評価し合う。単元の振り返り。
事後		○家族や担任の先生に「平家物語新聞」を見せて感想をもらう。

5 本時の指導 (6/8)

(1) 目標

物語のお気に入りの場面を新聞記事(報道記事・論説・コラム・人物評)にまとめることにより、場面の様子や登場人物の言動の意味・ものの見方や考え方を捉えることができる。

(2) 「振り返り」の工夫

- ・1年生での学習や単元初めに学んだ既習事項(トップやセカンド記事・論説・コラム・人物評の書き方)を振り返り確認し、学習の見直しをもたせる。
- ・ワークシートを用いて視点(「どのような学習プロセスによって自分がどのように変容したのか」「友達から学んだよさ」「次の学習への意欲」等)を定めて振り返り、グループやクラスで共有することで、個々の学びを価値づけていく。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 ()
導入 5分	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">登場人物の人物像にせまるコメントを書こう!</div>	・紙板書, 学習シートの配布
	2 本時の学習活動の流れ(見直し)を確認する。 ① グループBでの話し合い方 ② 全体発表の仕方。(大まかな流れ) ③ 振り返り	◎同じ人物を選んだ生徒同士で記事を読み合い、人物の行動の意味や心情について考え、その人物像を探り、よりよい「記者のコメント」をみつける学習であることを確認する。
展開 35分	3 グループBで、書いた記事を読み合い、登場人物の行動の意味や心情について考え、その人物像について話し合う。 ① 登場人物の言動について確認する。 ② その行動の意味やそのときの心情(作者の人物に対する思い)について、話し合う。 ③ ②で話し合ったことをもとに、初めに発表した新聞記事の「記者のコメント」どう直せばいいか、意見交流する。	・まず、自分の記事に蛍光ペンで印をつける。(記者のコメント:ピンク、会話文:黄色、事実:緑) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">登場人物の行動の意味や心情(作者の物の見方・考え方)について、本文の記述をもとに理由を示して話し合っている。【学習シート・観察】</div>
	4 グループBでの話し合いの様子を、全体で紹介する。 ① 話し合いの結果、取り上げた登場人物の言動やその意味・心情(作者の物の見方・考え方)について深まったこと ② それを記事に反映するために直すところ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">話し合ったことをもとに、「記者のコメント」を直している。【学習シート】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">登場人物の行動の意味や心情(作者の物の見方・考え方)について、本文の記述をあげ、理由を示して発表している。【学習シート・発表】</div>
終末 10分	5 本時の振り返りをする。 ① 指示1分 ② 記入4分 ③ 交流2分 ④ 発表2分 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">Aさんの「○○」という発言を聞いて、登場人物の○○行動が○○のためであったと考えさせられた。自分は○○と記事に書いたが○○と直すべきだと気付いた。グループでの交流を通して、登場人物の言葉や行動から心情を捉える方法が身についたと思う。(第Ⅲ型)</div>	・視点を示した学習シートに記入させ、感想を交流することで、自己有用感・肯定感を高める。
	6 次時の予告を聞く。	